

ようこそ畑へ

2011年9月12日(月)・15日(木)

【愛子】

9月6日(火)朝3時過ぎ、ものすごい雨音で目が覚める。恐怖を感じる音でなかなか寝付けない。

次の瞬間、「愛子、起きて!」と夫に起こされる。と同時に5時の目覚ましがなる。何かかと思って起きて、外へ出てみると、家の土台付近に水がたまっている、そして家の横の土手から今まで見たことのない流れで、我が家に水が流れている。これはまずい。

すぐに夫は、スコップで水が排水溝へ流れるように水の流れ道を作った。そして「今日は配達はやめよう、畑へ行って来る」と出て行った。私は、食事の用意をしながらも、家の周りが気になり、再び外へ。水は、流れ道を通り、排水溝がどんどん飲み込んで行く。水位は、少しずつ下がってきた。するとすぐ夫が戻ってきた。「畑は大変なことになっているよ」と…。子供たちを学校へ送り出し、会員の皆さんへ、配達日変更の連絡をして、二人で畑へ行った。

いつものところには車は止められないと夫が言うので、少し手前で停めて、歩いて行く。ズッキーニや葉ものの赤ちゃんの畑は、溝に水の流れはあってもいつもと変わらない様子。そして、小屋の裏手まで進んでいくと、ゴォーというものすごい水の音。この位置からいつも水の音は聞こえないのに。もう少し行くと、案の定、用水路の水はすごい勢いで溢れている。溢れた水は小屋の前の広場も15cmくらいの水びたしに、水びたしというより池のようになっている。

白菜の畑では、白菜が半分くらい水に浸かっている。その横で、芽が出始めた小松菜、ルッコラは完全水没。おそらく水草のようになっていた様子。2ヶ所くらい畦(あぜ)が崩れて水が流れている。枝豆の一部も水の流れで倒されている。

「愛子はビニールハウスでなすとピーマンの収穫をして…」と夫はそう言ってまた違うところを見に行った。あまりの雨なので、

すぐそのビニールハウスまでも、少し遠回りして行かなければならない。畑と畑の間に用水路があり、板を渡しているが、いつもは水の音は聞こえても草がボーボーで水は見えないのに、水は板まで来ている。板をジャンプして、やっとビニールハウスにたどり着く。ビニールハウス内も水が入り、ぬかるんでいる。いつも楽しい収穫も今日は、不気味な感じがしてならない。そして、夫がやってきた。「今、地主さんと連絡とって消防に来てもらうことにした。用水路の取水口をとめてもらう…」と。「わかった」と私。ナスもピーマンもなんとなく不安げな様子。次はズッキーニの収穫へ。そして消防車のサイレンが聞こえてきた。取水口は畑から少し離れているので、夫が先導して消防車が移動していく。あとから夫からきいたのだけど、コンパネなどを使って応急処置をしていただいたとのこと。それからは思っていたより、雨は降らなかったの、水は夕方にはひいて行った。

お陰様で、作物がダメになってしまったのは少して、土ごと流されたとか、枯れてしまったという被害はないようだ。これからがどうなっていくのか、根腐れをおこしたり、枯れたりするのだろうか。しかし、自然栽培の考えでは、土の肥毒がなくなれば、作物が元気に育つという点では、大雨によって肥毒抜きができたのかなと思ったり…。

大自然は恵みを与えてくれ、癒してもくれるけど、時として人は太刀打ち出来ないほど無力になる。その時、自分でなんとか手を打つのか、誰かに助けてもらうのか、判断することも大切であることを学んだ。

最後になりましたが、多くの方から、ご心配していただき、励ましのメール、FAX、直接お声をかけていただきありがとうございました。本当に、力になりました。

【寛記】

たくさんの方が心配して下さり、また、励ましの言葉を下さいました。ありがとうございました。こうして直接野菜を受け取っていただく関係は、本当にありがたいものだと思身に沁みています。

今のところ、水につかった野菜に大きな影響はないように見えますが、畑の土が水分を多く含んでおり、草取りなどの作業がや

りにくい状況です。今後、水分過多で根が傷まないことを願っています。

これからお届けするレタスやサニーレタス、白菜などは下葉に土がついている状態でのお届けになると思います。ひと手間かかりますが、食べる前によく洗っていただければ問題なく食べられると思いますので、よろしくお願ひします。

少し日にちが経って、今回の水害、全て天候のせいには言いけないと思っています。日頃から、用水の草刈りや溝さらいなどの管理をしっかりしておけば、もう少し畑に溢れる水を少なくできたかもしれません。また、今回、農業用水の本線が増水して、取水口から溢れて伊達家の畑に水が押し寄せてきましたが、取水口を溢れないように補強するなど、被害を少なくするためにやるべきことがあると思います。

ここ数年の天候の傾向をみると、今後も今回のような集中豪雨は繰り返されると思いますので、今回の経験を教訓に、より災害に強い農場にしていかなければならないと思っています。

9月に入って大雨が続き、ここしばらく、スッキリ晴れる日がなく、なんとなく気持ちが沈みがちですが、皆さんからのお見舞いや応援の声を励みに、顔をあげて頑張っていこうと思います。

【枝豆】自家採種

11日(日)現在、黒豆の枝豆がもう一息というところまで来ています。もう少し味が乗ってからお届けしたいと思います。天候にもよりますが、15日(木)にはお届けできると思います。申し訳ありませんが、月曜受け取りの方は、20日(火)までお待ちください。

【トマト】自家採種

何人かの方から、トマトがおいしいという声をいただいています。「うちの子トマト食べないけど、伊達さんちのは1個ペロッと食べました。」

「我が家の男性陣は、生のトマトが苦手なので、チーズのせてオーブンで焼いてみました。トマトの味が濃い！美味しかったよ！」

「うちの子は、伊達家のトマトを『爆弾トマト』と名付けて（割れているから）、うまいうまいと言ってペロリと食べました。」

「うちの子は 12 年間嫌いだったトマトが食べられるようになりました。」

「昔懐かしい、本物の味ですね。」

また、お届けしたものよりも、もっと割れが大きいはね品をケチャップにした方がいて、少しいただきましたが、優しい味ですごくおいしかったです。

何とか割れないトマトができるよう、来年に向けて、環境整備をしていきたいと思っています。